

4月6日に調査。干潮が11:19の33cm、10時過ぎ頃から浜に降りた。南風が強く、海面が上がっているせいか、沖の方には行けなかった。

調査は干潟の縦横20cmの区画のなかをシャベルで10cm程度掘り返して貝類を探すもの。これまでと同様足洗い場の少し東から始めた。だんだん沖の方に移動し、



西浜 11時50分頃

5回目で2cmくらいのシオフキを発見。区画調査を6回実施したが、他の所では貝類は見当たらなかった。その後、沖の方を広い範囲に熊手で探した。



5回目で出てきた2 cm くらいのシオフキ

取
れ
た

のは3cmサイズのハマグリ 2 個。昨年取れたサイズと同じようなので、新しく着底したものと思われる。

たまたま家族 4 人連れのハマグリの写真撮らせてもらった。5cmくらいのもので、これ一つだけとのこと。上の西浜の写真に家族連れが写っているが、そんなに沖でなく、結構



ハマグリ 3.3cmと3.1cm

広く探していた。存在密度は大変薄いと思われるが、以前着底したものが育っていることを示している。

他に2cmくらいのシオフキ延べ4個、1cm くらいと1.5cmくらいアサリ稚貝。ホンビノスガイには遭遇しなかった。

そのほか10cmくらいの生きているマテ貝が 1 個横たわっていた。

4cmくらいの小さいアナジャコが生きているが元気がない状態で、漂っていた。ここで初めて遭遇。

10cmくらいのゴカイ類が 1 個、泳いでいた。



家族連れのハマグリ

大潮の夜起こるバチ抜けの名残なのだろうか。

相変わらず、貝類は殆ど存在せず、たまたまほんの少数着底したハマグリだけが育っているように見受けられた。



シオフキ



シオフキとアサリ



マテ貝



アナジャコ